

活動名	熟議2016 in 兵庫大学	報告者	生徒指導部
日時	11月20日(日)		
場所	兵庫大学		
参加人数(所属)	4名(全日2名 定時2名)		
目的	世代を超えて、地域課題の解決に向けて考える		

11月20日(日)に全日制から2名、定時制から2名、合計4名が兵庫大学で行われた熟議に参加しました。

今回の熟議では「今、大地震が加古川地域を襲ったら?」というテーマを下に行われました。高校生はもちろんのことですが、大学生、社会人の方も参加されていました。この熟議では事前に行われた学習会で得た知識を用いて熟慮し、当日は議論するという形でした。熟慮の段階では、大地震が発生した後の、被害状況や被災された方々の復旧、復興への歩みなどを考えました。また、減災への取り組みについて、熟議当日の午前中に各グループに別れて議論していきました。

午後になってからは、午前中に話あった減災への取り組みを企画書にするために具体的な話し合いを行い、一枚の模造紙に書いていきました。その後、議論の結果や結論を共有するために作成した企画を発表しました。発表では、行政と学校、民間が協力した地域合同の避難訓練、一人でも多くの方が助かるために普段からコミュニケーションを図る方法、緊急時の救命措置や工具の使い方の講習を開くなど、様々な意見が各班から出ました。

今回参加した熟議では、加古川市を対象とした内容でした。しかし、議論した内容はどの場所であっても関係があると思うので、今回の経験を活かし今後の生活に活かしていきたいと思います。

